

会議録

会議の名称	令和5年度第4回東松山市障害者計画等策定委員会					
開催日時	令和6年2月14日（水曜日）			開会	午後 2時	
				閉会	午後 3時30分	
開催場所	東松山市総合会館多目的ホールB（東松山市役所前建物4階）					
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 （1）パブリックコメント実施結果について （2）第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（案）について （2）第三次市民福祉プラン後期計画進捗について 4 その他					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		1人	
委員出欠状況	委員長	葉石 光一	出	委員	宮腰 智裕	出
	委員	岡田 浩	欠	委員	福地 みのり	欠
	委員	武田 耕典	出	委員	篠田 真一	出
	委員	佐藤 美奈	出	委員	丹羽 彩文	欠
	委員	若尾 勝己	欠	委員	遠藤 正宣	出
	委員	中能 広和	出	委員	石川 京子	出
	委員	田原 祐己子	出	委員	多田 明彦	出
	委員	青木 梨恵	出	委員	河村 利恵	出
	委員	杉浦 翔太	出			
事務局	健康福祉部 田嶋部長			健康福祉部 高荷次長		
	障害者福祉課 成川課長			障害者福祉課 荻原副課長		
	障害者福祉課 小松主査			障害者福祉課 浅野主査		
	障害者福祉課 金子主任					

次 第	顛 末
<p>1 開会 事務局（障害者福祉課 荻原副課長）</p>	<p>皆様こんにちは。本日は公私とも大変お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は本日会議の進行を務めさせていただきます、障害者福祉課の荻原でございます。よろしくお願いたします。</p> <p>それではただいまから、令和5年度第4回東松山市障害者計画等策定委員会を開会いたします。</p> <p>本会議につきましては、事前にお配りした次第により進めさせていただきます。はじめに、葉石委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>2 挨拶 葉石委員長</p> <p>事務局（障害者福祉課 荻原副課長）</p>	<p>— 挨拶 —</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、委員の出欠状況についてご報告申し上げます。17名の委員のうち、本日出席委員は、13名となっております。従いまして、東松山市障害者計画等策定委員会条例第6条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本会議は成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>また、本日の会議録作成にあたり、出席委員2名の方に署名をお願いしたいと存じます。本日の会議録につきましては、遠藤委員と田原委員をお願いいたします。後日、会議録ができましたら、事務局よりご連絡を申し上げますので、ご署名をお願いいたします。</p> <p>議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。事務局より確認をお願いいたします。</p> <p>— 資料確認 —</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。議事につきましては、障害者計画等策定委員会条例第6条第1項の規定により委員長が議長を務めることとなっておりますので、葉石委員長よりお願いいたします。</p>
<p>3 議事 葉石委員長</p>	<p>それでは皆さん本日もご協力よろしくお願いたします。</p> <p>議事に入る前に確認事項がございます。東松山市審議会等の会議の公開に関する要綱では、公開・非公開の決定を会に諮って決めることとなっております。本日の会議は公開の会議とし、会議資料や会議録を公表してよろしいでしょうか。</p> <p>— 異議なし —</p> <p>公開の場合、傍聴希望者がいらっしゃれば、傍聴いただくこととなります。事務局にお伺いいたしますが、本日傍聴希望者はいらっしゃいますでしょうか。</p>

事務局（障害者福祉課 荻原副課長）	お一人いらっしゃいます。
葉石委員長	では、傍聴者がいらっしゃるとのことですので、入室いただいでください。続いて議事に移ります。議題（１）「パブリックコメント実施結果について」です。事務局から説明をお願いします。
事務局（障害者福祉課 小松主査）	— 議題第１号 パブリックコメント実施結果について説明 —
葉石委員長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局からご説明いただきましたが、このことについてご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>基本的にご意見のあった高次脳機能障害については、前半の方で精神障害に含まれるという前提となっているということが説明の趣旨であったかと思います。</p> <p>一点よろしいでしょうか。高次脳機能障害の方の徘徊に対する対応について、徘徊高齢者等家族支援サービス事業等に含まれるということは、わかりやすく周知されているのか、確認のためにお聞きします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	所管は高齢介護課になりますが、ケアマネージャー等を通して本事業については周知を図っておりますので、支援が必要な方に対しては個別に周知が図れていると考えます。
葉石委員長	<p>ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、議題（２）「第７期障害福祉計画・第３期障害児福祉計画（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	— 議題第２号 第７期障害福祉計画・第３期障害児福祉計画（案）について説明 —
葉石委員長	<p>ただいま事務局からご説明いただきましたが、このことについてご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>パブリックコメントを受けて一カ所、７１頁の見込み量の数値について変更があったとのことでした。これまで確認をいただいていた内容について、このような形でまとまったということなので、タイミング的には完成の確認ということになります。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、特にご質問等ないようでしたら、議題（３）「第三次市民福祉プラン後期計画進捗について」に移ります。</p> <p>なお、計画は分野１から分野７まであります。本日は、まず前半に分野１から３の説明をし、その後、質疑を行います。</p> <p>続いて後半に分野４から７の説明をし、質疑を行うという順番で進めてまいりた</p>

<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>いと思います。 では、事務局から分野1から3の説明をお願いします。</p> <p>— 議題第3号 第三次市民福祉プラン後期計画進捗について（分野1～3）説明 —</p>
<p>葉石委員長</p>	<p>ただいま事務局から分野1から3までについて説明がございました。このことについてご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>武田委員</p>	<p>分野2の目標1の関連実績にある市内小中学校看護師配置人数について、小学校1名に対し、中学校0名というのは対象となる生徒がいないために配置がなかったという解釈でよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>学校教育課に確認いたしましたところ、おっしゃるとおり対象となる生徒がいないためとのことでした。</p>
<p>河村委員</p>	<p>分野1の目標3にある「救急医療情報キット」とはどういったものなのか、また、配布はどのようにされていて、配布実績381件というのが十分な数値なのかわかりかねますので、ご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>本件を所管しているのは、健康推進課という部署になります。主に持病がある方、高齢者の方が大半になりますが、普段飲んでいるお薬であったりとか、かかりつけ医、お体の状態について記載し、冷蔵庫等に貼っておくもので、万が一、ご自宅等で倒れて救急隊が駆けつけた際に、その方の状況を把握し、適切な処置が迅速にとれるように、こうしたキットを周知して個別に配布をしているところです。周知については広報紙に掲載することで広くお知らせしているほか、高齢者の方については民生委員の皆さんが70歳以上であって、単身や高齢者のみでお住まいの世帯を毎年一回、個別に訪問をしております。その訪問の中でも、こちらのキットについては、万が一に備えて冷蔵庫に貼っておいてくださいと、個別にお声掛けをさせていただいております。</p>
<p>河村委員</p>	<p>70歳以上の単身の方に個別周知をしているということですか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>周知は広報紙等で広く行っていますが、民生委員の方が個別に訪問をする中での周知については、先ほど申し上げた年齢や世帯の方に絞っています。</p>
<p>河村委員</p>	<p>民生委員の方を通じて配布されているということでしょうか。</p>
<p>事務局（障害者福祉課 小松主査）</p>	<p>健康推進課の窓口でも必要な方に対して、随時お渡ししております。</p>

河村委員	実績の数字としては、この件数は充分とお考えなのでしょうか。
事務局（障害者福祉課 小松主査）	基本的に1年間で新たに配布をした人の数という認識でおります。既に持っている方の数の把握はしておりませんが、1年間でこれだけの数が配布できたことは、十分であるか測りかねますが、実績としてそれなりの件数と考えております。
葉石委員長	<p>381件というのが令和4年度の配布実績数ということで、それ以前にも配布をして蓄積してきたということですね。</p> <p>目標1についてよろしいでしょうか。一般市民への理解を広める機会となるようにということで、きらめき出前講座を実施されているということです。令和4年度は「私たちのまちの障害者福祉サービス」3回69名、「障害への理解」1回8名とのことですが、この受講者は一般市民ということによろしいでしょうか。もしくは関係者でしょうか。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	手元の資料では利用団体名まで確認はできないのですが、基本的に一般市民の方です。高齢者サロンであったりとか、自治会であったりとか、そうしたところからの希望により出前講座を実施する場合があります。
葉石委員長	<p>分野2についてなのですが、全体的な総括として、ソフト面とハード面について、主にソフト面は充実してきていると思いますとのことでした。障害あるなしに関わらず、子どもたちが地域で一緒に育ち合うというようなことは、簡単ではないところが実際にはあると思います。例えば、学校では交流共同学習という機会を持つこと設けられているのですが、そういった機会は実施する側の大変さもあって、充実していかないというのが全国的な課題の一つになっています。色々なパターンがあるのですが、例えば、通常の学校の中に、通常の学級と特別支援学級が合わせてある場合はその学級間で、生徒が行き来するというものや、学校間ですね。特別支援学校と通常学校の間で行き来する。障害のある子どもとない子どもが関わる機会になるものを指します。準備の大変さも、なかなか進まないという話ですが、そのあたりはどうでしょうか。</p> <p>分野2の目標1、施策6で学校教育課が特別支援学校との交流についてと記載がありますが、この交流はそれに当たるのかどうかお聞きしたかったところです。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	当課では分かりかねる部分につき、多田委員から説明をお願いできればありがたいと思います。
多田委員	<p>東松山特別支援学校の多田と申します。今、葉石委員長がおっしゃった、交流共同学習の実績としましては、市の川小学校と本校の小学部の生徒が交流をしております。市の川小学校は通常学級の生徒さんと交流をしております。</p> <p>また、中学部についてですが、8校交流会とって、東松山市と吉見町を含め、中学部の生徒と、中学校の特別支援学級の生徒が交流をしております。</p>

	<p>補足として、高等部の生徒ですが、松山高校、松山女子高校の生徒会と一緒に行事をしており、高校生レベルでの共同学習を実施しております。</p> <p>目標1の実績として学校教育課が記載している内容については少し意味合いが違っているように感じます。</p> <p>交流というと、子ども同士の交流を指すことは、学校現場では多いものですが、コーディネーターが巡回相談などで交流するような交流としてしまうと意味合いが異なっていくような感じがしますので、表現を整理した方が良いように思います。</p>
葉石委員長	<p>ご説明ありがとうございました。この交流という点が交流共同学習としての生徒同士の関わりなのか等、学校教育課と確認を取りながら整理してほしいと思います。</p>
宮腰委員	<p>分野2の目標1、施策3で保育園への補助金があって、それぞれ単価が6万円から15万円までありますが、その基準を教えてください。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>民間保育園等運営費補助金に係る基準について確認をしたところ、特別児童扶養手当を支給されていない場合は6万円、同じく特別児童扶養手当を支給されている3歳以上のお子さんについては15万円、特別児童扶養手当を支給されている3歳未満のお子さんについては10万円という基準で算定しているとのことです。</p>
佐藤委員	<p>分野1の目標1、関連実績の中の基幹相談支援センターの民生委員・児童委員を対象とした研修は、東松山市だけじゃなくて比企広域で実施しているものということでしょうか。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>おっしゃる通りです。</p>
佐藤委員	<p>それから、分野3の目標1の関連実績にある就労定着支援利用件数が10件で、次のページの目標3では11件になっているのは、どちらが正しいでしょうか。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>大変失礼いたしました。確認したところ、利用者数について正しくは11名です。分野3の目標1に係る関連実績で10件となっている部分を訂正させていただき、正しくは11名になります。</p>
葉石委員長	<p>それでは続いて分野4から7について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>— 議題第3号 第三次市民福祉プラン後期計画進捗について（分野4～7）説明 —</p>

葉石委員長	<p>ありがとうございました。ただいま分野4から7について説明いただきました。内容についてご意見等ございますでしょうか。</p>
中能委員	<p>分野6の目標4、施策8、虐待防止法や障害者差別解消法等の適用範囲を考えたときに、一般家庭ですとか、あるいは学校ですとか、地域全般で起こっている事象に関する法の適用ということの意味しているのではないかと思います。そうであれば、この虐待通報を受けた7件が令和4年度の実績だと思いますが、その後の文章で、「施設調査や面談等事実確認を行った」という表現ですと、私も施設側の立場なので少しナーバスなのかもしれませんが、あたかも施設で7件の虐待が起きたと理解されてしまわないかと気になりましたので、その点についてお伺いしたいと思います。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>障害者虐待について少し補足をさせていただきます。</p> <p>障害者虐待は大きく三つの分野に分かれています。一つは、施設等における虐待、もう一つは家庭を想定していますが養護者における障害者虐待、三つ目は障害者を雇用している使用者からの障害者虐待。基本的には大きくこの三つを障害者虐待と捉えております。仮に、施設に入所している方へ施設職員から虐待が行われているのではないかとこの通報があった場合には、調査の方式としては施設調査を行います。施設の職員や、また利用者の方に聞き取りをしますので、施設調査と表現しているのはそういった場合です。</p> <p>一方、家庭の中で養護者から虐待を受けているという場合には、面談等と表現させていただきます。いずれにしても、関係する皆様から事実確認をさせていただいたということの表現でございます。</p>
葉石委員長	<p>そうすると内容やあの事実の確認を、施設やその他関係各所等に確認を行ったという意味でこのような表現をされているということによろしいでしょうか。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>施設調査という表現が限定的に受け取られかねないというご意見ですので、表現について検討させていただきます。</p>
葉石委員長	<p>その辺りはお任せいたしますが、内容としてはわかりました。</p>
河村委員	<p>施設調査という言葉を見たときに、やはり私も施設に調査をされたという印象を受けました。表現についてはお考えいただいた方が良かったと思います。</p> <p>また、質問ではありませんが、分野6目標2の関連実績の中に「公認心理士」とありますが、正しくは教師の師、「公認心理師」になりますので、修正をお願いします。</p>
事務局（障害者福祉課 小松主査）	<p>ありがとうございました。修正させていただきます。</p>

葉石委員長	そのほかにいかがでしょうか。前半部分にさかのぼっての質問でも構いません。
遠藤委員	分野3に戻ってしまい恐縮ですが、調達実績について目標値というのはあるのでしょうか。また、上限額というものはあるのでしょうか。
事務局（障害者福祉課 小松主査）	目標値の設定としましては、障害者福祉課の方で立てている目標値があります。令和4年度については、目標390万円と設定している中での今回の実績となります。また、上限額について設定はございません。
遠藤委員	そうすると、各課で目標値が設定されているということでしょうか。
事務局（障害者福祉課 成川課長）	各課ではなくて、市として目標値を設定しております。目標値を設定する際には全庁的に照会をかけまして、どのくらいの見込みがあるのか、年度当初に確認させていただきながら、目標を定めております。
葉石委員長	先ほどの障害福祉課の方で設定した目標値390万というのが、東松山市の目標値ということですね。
事務局（障害者福祉課 成川課長）	そのとおりです。
葉石委員長	実際、実績はそれを大幅に上回っているという状況ですね。
事務局（障害者福祉課 成川課長）	補足ですが、令和4年度の実績値が目標値を大幅に上回っておりましたので、令和5年度、今年度の目標値につきましては700万に目標値を上げさせていただいております。
葉石委員長	ありがとうございました。
葉石委員長	そのほか、全体を通して何かございますでしょうか。
葉石委員長	なければ、これで議事を終了し、議長の職を解かせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。
4 その他	
事務局（障害者福祉課 荻原副課長）	葉石委員長ありがとうございました。
事務局（障害者福祉課 荻原副課長）	続きまして、議題4、その他でございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。
事務局（障害者福祉課 荻原副課長）	ないようですので、事務局から連絡事項を申し上げます。今年度は今回の会議が最後となります。来年度につきましては、年2回の策定委員会を予定しております。初回は7月頃を予定しております。詳細は改めてご連絡させていただきます。連絡事項は以上でございます。
事務局（障害者福祉課 荻原副課長）	最後に、健康福祉部長の田嶋より閉会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

<p>健康福祉部 田嶋部長</p> <p>事務局（障害者福祉課 荻原副課長）</p>	<p>— 挨拶 —</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第4回東松山市障害者計画等策定委員会を閉会とさせていただきます。</p> <p>長時間にわたりましてご審議いただきありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和6年2月29日</p> <p>署名委員 <u>遠藤 正宣</u></p> <p>署名委員 <u>田原祐己子</u></p>	